

報告・評価シート【事業所名：まっくびーレジデンス大垣】

項 目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】	協議会委員からの要望・助言・評価		事業所 回答
			まっくびーレジデンス大垣	全事業所	
1. 地域に開かれた運営	実習生やボランティア等の受け入れ	・受入人数：実人数		【要望】 ・実習生やボランティア等の受け入れ実績がない。今後も受け入れの機会を設け、地域で働く人材育成に関わる運営をお願いしたい。地域住民の方との交流の場の充実についても努めていただきたい。 ・ボランティア等の受け入れがないのはコロナの感染予防のためとは思いますが、感染防止に努めながら気軽に地域の方と交流できるレクリエーションなど取り入れ、地域に理解してもらい、災害等困ったときには助けてもらえる関係づくりに努めること。 ・実習生やボランティア等の受入について：コロナも五類となっている中、地域の施設、施設の社会化を意識してボランティアの受け入れ、交流の機会を計画的に設けてほしい。 【助言】 ・地域の行事に参加したり、広報紙を作成して配布したり、地域交流がもてる行事を事業所が企画するなど、地域住民に障がい者へ理解や障がい福祉サービスの理解を深めていけるとよい。 ・実習生やボランティア等の受け入れがないが、日常的にこれらの受け入れが難しい場合は、ホームのイベントなどにボランティアを依頼するなど、工夫をしていただくとよい。	【回答】 ・コロナ等感染症の件があった為、今後は実施していきたい。まずは利用者それぞれの特性を知り、接し方や支援方法を少しでも理解していく事。ボランティアの方を受け入れる事が出来ておらず、実習生やボランティアを検討するにあたり、イベントなどで交流の機会を作るほか、広報誌を作成し希望するご家族に配布するなど、日中活動を盛り上げていきたい。
		0名			
		・実習等受入事例			
	地域住民との交流の機会の確保	・交流機会の事例 地域の方との交流については未実施ですが、グループ内の隣にある高齢者住宅の高齢者の方と夏祭りをしたり、敬老会をしたり、運動会をしました。			
2. 短期入所の併設	地域で生活する障がい者の積極的な受け入れ	・利用者数	【要望】 ・家族の不安解消のため緊急的利用のニーズへの対応の実績を増やして欲しい。		【回答】 ・職員の確保が出来ておらず現在に至っておりますが、今後は離職率を下げ職員を増やし、短期受け入れを検討していきます。
		3名（大垣市の支給決定者）			
	緊急的利用のニーズへの対応	・緊急受入人数			
		0名 (令和 年 月 日 ～ 年 月 日)			
3. 支援の実施	利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援	・緊急受入れの事例			
	支援の質の確保（資格取得・研修等）	・外出や余暇活動等の事例 天気の良い日には、近所に一緒に散歩に出かけたり、買い物が必要な時には、一緒に店に出かけて買い物をしたり、病院受診の際にも通院支援をしています。	【要望】 ・有資格者がいない。障害特性や支援技術を学ぶ研修の充実を図り、職員全体の専門性を高めることで、虐待の防止や利用者の満足度の向上に努めてほしい。 ・支援の質を確保するために、障がい者の暮らしを支える協議会の研修への参加など、外部研修の受講も検討していただきたい。	【要望】 ・重度化、高齢化等へのニーズについて重症心身障がい者も含めて受け入れた場合、緊急時に対応できる医療関係者を24時間体制で常駐させていただけないか。 ・医療的ケアのある利用者様の利用希望があった場合の医療支援体制を整えてほしい。体制が整っていないため、受け入れできないと断ることがないようにしていただきたい。 ・支援の質の確保について、県・市等が実施する様々な研修に積極的に参加して支援者の質の向上を図って欲しい。 ・スタッフの質の向上は大変重要だと思う。実施している研修の方法、内容等はもう少し詳しく報告していただけるとよい。（計画だけでなく、実績の報告を） ・強度行動障害のある方への支援について研修実施や受け入れ実施について評価させていただきます。より一層の取り組みが進むことを望む。 ・苦情解決や虐待防止等の研修を計画的に位置付けて取り組みを進めていることは高く評価できる。特に虐待については管理者が日常の様子をよく見て、危機感をもって、職員の方の言動を見守っていただくことを望む。 ・コンプライアンスを遵守し、入所者の人権を尊重して運営いただくことを望む。 【評価】 ・体験的ニーズへの対応が積極的である	【回答】 ・緊急時に対応できる医療関係者について、経営上現在は難しいため、体制を整えるための努力をしていきたい。 ・支援の質では、令和7年から地域連推推進会議の義務化により、外部の者による評価をもとに必要な要望・助言を聞くことで、施設側もどんな事が必要なかを認識するとともに、積極的に研修に参加し、質の向上に努めたい。 ・強度行動障害のある方への支援についても、今後も研修・受入れ実績をつくり、特に不足する障害特性にも対応できるように検討していきたい。
		・取得した資格、参加した研修等 介護職員初任者研修取得者1名			
	重度化・高齢化等へのニーズへの対応	・対応事例			
		現在車椅子で生活されている方が3名、杖歩行されている方が2名生活されており、食事介助が必要な方は2名、排泄介助が必要な方が3名、入浴介助でリフト浴使用をしている方が3名、入浴に介助が必要な方が6名となっています。また、短期入所でも車いすの方の受け入れをしています。			

項 目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】	協議会委員からの要望・助言・評価		事業所 回答	
			まっくびーレジデンス大垣	全事業所		
	体験的利用のニーズへの対応	<div>・体験利用人数</div> <div>1名</div> <div>・体験利用の実例</div> <div>強度行動障害のある自閉症の男性の受け入れ、現在は服薬の変更で体調がよくないため利用していない。</div>				
	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	日中サービス支援型共同生活援助なので、日中も夜間も24時間体制で常時2から4人が必ず支援を行えるようにしています。				
4. 利用者の状況	利用者の障害支援区分	区分6：1名	区分5：2名	【要望】 ・利用者の障害特性：医療的ケアの必要な利用者が多く、どのような対応を講じているか、ご記入をお願いしたい。 【評価】 ・重度の方の受け入れもされており、今後も継続した支援をお願いしたい。	【要望】 ・医療的ケアが24時間必要な難病の利用者は多くても1名ぐらいで極めて少ない状況である。症状が安定している難病者も多いので自立への支援を積極的に行ってほしい。 ・医療的ケアの必要性、強度行動障害の利用者の実績が無かったり、あっても少ない。自閉症の強度行動障害の家族で困って見える方のニーズは多いと思われる。大変だと思うが職員の専門性を高めて対応できるように努めてほしい。 ・他の日中活動サービスを利用していない利用者さんに対しての充実した日中活動を行ってほしい。	【回答】 ・現在、難病進行性ミオクロニてんかんの方が居るが、今は医療的ケアはない。24時間医療ケアができない為、今後については検討中である。 ・ナースがいない為、経営的に今は無理な状態である。 ・日中活動プログラムを利用していきます。
		区分4：2名	区分3：2名			
		区分2：0名	区分1：0名			
		区分なし：0名				
	利用者の障害特性等	・医療的ケアの必要性 強度行動障害のある利用者の人数				
		7名中 1名				
	他の日中活動サービスの利用	・他の日中活動の利用状況				
		7名中 3名				
		・主な他の日中活動サービス利用先				
		生活介護1名、就労継続支援A型1名、リハビリ通所1名				
	空室がある場合（新設時含む）の対応	・入居募集方法や申込状況				
		現在空室があります。地道に相談員さんや病院さんからのご相談を入居につなげています。				
5. その他	運営の特色・工夫等	・設備面での障害特性等への配慮		【要望】 ・運営面での特色等について「なるべく」という表現は不要ではないか。また本人の意思の「推定」よりも「確認」の方が望ましいと思う。 【評価】 ・女性階、男性階ともに車いす対応のトイレがあります。浴室もリフト浴槽が使用できます。食堂テーブルは、車いすの方が楽に座れる高さになっています。短期入所室には、介護ベッドを用意しています。 ・運営面での特色等 ①なるべく意思決定ガイドラインに沿って支援できるようにサービス管理責任者と管理者補助でアセスメントを行い個別支援会議時に本人の意思の推定、最善の利益判断を意識して個別支援計画に反映させるように努めています。 ②日中活動のプログラムを組み、大きく創作活動と運動活動にプログラムを分け日中に1時間程度過ごせるようにしています。	【要望】 ・多方面にわたり、様々な工夫がなされているようです。障がい者が暮らしやすい地域社会のために、尚一層のご尽力を期待する。 ・自己負担金の公平な配分を行っていただきたい。 【評価】 ・苦情解決や虐待防止等の研修を計画的に位置づけて取り組みを進めていることは高く評価できる。特に虐待については、管理者が日常の様子をよく見て、危機感をもって職員の方の言動を見守ってくださることを願う。	【回答】 ・運営面での特色等について、ご指摘の通りなるべくではなく、意思決定ガイドラインに沿って、本人の意思の確認をして支援をする事を周知していきます。
		女性階、男性階ともに車いす対応のトイレがあります。浴室もリフト浴槽が使用できます。食堂テーブルは、車いすの方が楽に座れる高さになっています。短期入所室には、介護ベッドを用意しています。				
		・運営面での特色等				
		①なるべく意思決定ガイドラインに沿って支援できるようにサービス管理責任者と管理者補助でアセスメントを行い個別支援会議時に本人の意思の推定、最善の利益判断を意識して個別支援計画に反映させるように努めています。 ②日中活動のプログラムを組み、大きく創作活動と運動活動にプログラムを分け日中に1時間程度過ごせるようにしています。				
	特記事項					
6. 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	要望・助言への誠実な対応	・要望・助言の内容及びその対応		【要望・評価】 ・協議会からの要望・助言についてどのように対応していただけるかに言及していただきたい。		